

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27504
学校名：手稲鉄北小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	□握力（筋力）、反復横跳び（俊敏性）、 20m シャトルラン（持久力）、50m 走（筋力）、 ソフトボール投げ（筋力） →全国平均より上回っている □上体起こし（筋力）、立ち幅跳び（瞬発力）、 長座体前屈（柔軟性） →全国平均より下回っている。	昨年度と比較すると、20mシャトルランの持久力が向上している。一方で立ち幅跳びの瞬発力や長座体前屈の柔軟性に課題が見られる。様々な運動機会を活用し、瞬発力や柔軟性の向上につながる活動を学校で取り組む必要がある。
体力・運動能力 ＜女子＞	□握力（筋力）、反復横跳び（俊敏性）、 ソフトボール投げ（筋力） →全国平均より上回っている。 □上体起こし（筋力）、長座体前屈（柔軟性）、 20m シャトルラン（持久力）、50m 走（筋力）、 立ち幅跳び（瞬発力） →全国平均より下回っている。	全国平均を下回っている種目が多いが、握力やソフトボール投げの筋力、俊敏性は全国平均を上回っている。一方で、柔軟性や持久力、瞬発力には課題が見られる。
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	・「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きですか」と回答する子どもの割合。 男子 当てはまる：98.1% 当てはまらない：1.9% 女子 当てはまる：81.9% 当てはまらない：18.1% 女子の割合が全国平均よりも下回っている。 ・「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。」と回答した子どもの割合 男子 当てはまる：94.3% 当てはまらない：5.7% 女子 当てはまる：84.1% 当てはまらない：15.9%	「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。」と否定的に回答した子どもの中で、「友達に誘われたら」「自分のペースで運動したい」と回答した割合が多い。そのため、休み時間を通して、子どもが体を動かす環境づくりの推進を継続して行い、仲間と一緒に運動したり、自分のペースで運動したりする時間を創出する必要がある。
三つの取組		
① 体育・保健等の授業の充実		③ 健康に関する指導の充実
具体的な取組	・体育の準備運動で活用できる「鉄北体操」や「なわとび」などを取り入れながら怪我の予防や次に続く運動効果を高める。 ・プロポーザル担当教諭によるサポートで各学年の体育授業を充実させる。 ・体育の単元内容をスポーツデー関連付けて、自分の目標に向かい主体的に参加し、運動に親しみ、身体を動かす楽しさを実感できるようにする。 ・教科部会と連携し、学習しやすい環境整備を推進する。	・「はしろうデー」や「なわとびデー」を通年で設定し、運動能力の向上を目指す。また、子どもの運動意識を高めるために、がんばりカードを活用するなど目標を設定できるようにしながら取り組む意欲の向上を図る。 ・児童委員会と連携し、休み時間に「てつぱくパーク」を実施し、運動する機会を創出する。 ・運動機会の充実を図るために、ドッジボールコート、ジャンピングボード、キャッチボール用のカラーボールを常設するなど、学校内外における環境整備の推進を図る。 ・マット運動や跳び箱運動の技能を高めるために、10月から11月に練習できる環境整備を推進する。
検証の方法	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用 ・学校独自の児童アンケートや保護者アンケート等の活用 ・学校評議員・学校関係者評価委員会・学校評価（児童・保護者・教職員）等の活用	